



# 南小だより

文責  
校長  
櫻井

## 一年生を迎える会

入学式から一ヶ月が過ぎた五月九日、運営委員会が中心となり、上級生が協力して一年生を迎える会が催されました。

名刺交換に始まり、人数集めゲーム、じゃんけんピラミッドと続いた交流を深めるゲームに、どの顔も楽しそうでした。

「学校は、集団を通して学びを広げたり深めたりする場」だということ。人数集めゲームの体験をもとに、仲間作りのためには声を掛け合ったり、今まで親しくなかった人も仲間に入れたりすることの大切さを学べたかと思えます。

また、担当教師に助けられながら会の企画・運営にあたった子どもたちは、話し合いやまとめることの難しさの中にも、周囲の人々を楽しませることの出来た充実感や達成感を味わえたかと思えます。

こうした経験を積み重ね、「くしてもらってことだから」「くしてあげられる」ことを増や

手作りの名刺交換をする子どもたち ↓



していくことが、「生きる力」の育成につながっていくものと考えています。

人数調整に苦労する子どもたち →



## アルミ缶回収

四月十九日、今年度最初のアルミ缶回収が行われました。

各家庭から持ち寄られたアルミ缶が、運営委員会の手により写真のように袋に整理されました。



これらのアルミ缶は、ある程度貯まったらリサイクル業者に引き取ってもらい、児

童会の活動資金となる予定です。

こうした活動を通して、資源の大切さや働くことの意義に気づいてほしいと願っています。

今後、月一回の割合で第三金曜日に実施していく予定です。

缶はつぶさずに、中を水でよくすすいで、学校へもたせてください。

ご協力を、よろしくお願いいたします。



## 健康診断

四月から五月にかけて、内科検診、歯科検診、尿検査やぎょう虫卵検査等々と各種健康診断が行われました。

心身の健康は、私たちが生活していく上で最も基盤となるものだと思います。

治療や再診のお知らせが届いた件に関しましては、どうぞ速やかに対応していただきたいと思います。



## 避難訓練

五月十六日、不審者侵入を想定した避難訓練を行いました。授業中の想定だったので担任の指示のもと籠城作戦の避難でした。警察官やスクールサポーターの方からは、下校途中での声かけを想定した指導も受けました。

子どもたちには、「危険の大元から遠ざかる」という避難の大原則を話しました。

時間も場所も様々な想定が出来る身の回りの危険に対して、素早い判断と的確な行動が出来るようにすることが肝要だと思います。

ご家庭でも、登下校中や休日など、お子さん自身が判断を迫られる場面を想定して話し合いをしてみてください。

また、防犯ブザーの電池切れが何人かの児童に見受けられました。いつでも使えるよう点検と補充にご協力ください。



## 雨の日と長靴

四月下旬のとある雨の朝、いつものように昇降口で子どもたちの登校を待っていた。あいにくの雨空のためか車で送られてくる子も多く、いつもより十分以上も早く着く班もある。しばらくすると、歩いてきた班がいつもと同じかやや遅いくらいに昇降口に姿を見せた。そんな中、最近あまり見られなくなった物が目に入り、なんだかうれしくなった。一年生の靴箱の中に一組の長靴が置かれたのだ。

車社会となつて、大人も子どもも長靴姿を見かけることが少なくなった。目の前に置かれた長靴からは、

「あいにくの雨だけど、気をつけてしつかりと歩いてね。」

「はい。がんばって行ってきま〜す。」  
という親子の会話が聞こえてきそうである。

雨の日に限らず、車を利用することが多くなった昨今だが、毎日歩いて登

## 校長のつぶやき

校務することが、子どもの身体だけでなく心を鍛える効果を、長い教員生活から感じていく。

前任校の話を持ち出すのはいささか恐縮だが、無遅刻無欠席の姉妹が二組あった。年間二百日前後の授業日の中には、体調の優れない日もあったが、学校の仲間の存在や、遅刻・早退・欠席0が続いていることが励みとなって、毎朝家族に見送られる中しつかり歩いて通っていた。心と身体が鍛えられた好例だろう。

児童数が減ったり、下校後の習い事があつたり、また今市事件以来、とりわけ農山村部での下校が心配され、車での送迎も多くなった。

大勢で通学できる朝こそしつかりと歩かせ、身体と脳を目覚めさせ、一日の始まりのリズムを作りたい。

